

『フェアブル昆虫記』と現代のフェアブルたち

100年という時を越え読まれ続けているフランスの博物学者フェアブルの『昆虫記』。日本では『フェアブル昆虫記』の名前で親しまれています。完訳本をはじめ、子どもたちが楽しめるように絵や写真などを多く取り入れたものなど、個性豊かな『フェアブル昆虫記』がたくさん出版されています。ここでは、それらの様々な『フェアブル昆虫記』とあわせ、少年時代に『フェアブル昆虫記』に魅せられ、子どもたちに虫や自然のすばらしさを伝え続けている現代のフェアブルたちの作品も紹介します。

リストの資料は書名・著编者名・出版社・出版年・請求記号・解説の順で掲載しています。

フェアブル昆虫記

大杉栄が翻訳した『昆虫記 - 昆虫の本能と集成の研究』(叢文閣 1922)が初期の翻訳では注目されたが、1939年には金の星社の特選文庫から児童書としても出版された。(『フェアブル昆虫記』(金の星社 田整 / 著 1939))

児童書としては、原文のいくつかを選んで読みやすく訳したもの、『フェアブル昆虫記』を元に、写真を多く取り入れ編集したもの、絵本など、虫の世界の入り口としての『フェアブル昆虫記』が数多く出版されている。

『フェアブル昆虫記』を楽しむ

中学生～

フェアブルの昆虫記 上・下(岩波少年文庫)	山田吉彦 / 訳	岩波書店	1953	486/D7
フェアブル昆虫記 1～3	平岡昇 / 著	白水社	1959	486/D7
完訳フェアブル昆虫記 1～	奥本大三郎 / 訳	集英社	2005～	486/D7

小学校高学年～

少年少女フェアブル昆虫記 1～6	古川晴男 / 訳	偕成社	1979	486/D7
少年少女フェアブル昆虫記 1～8	中村浩 / 訳	あかね書房	1969	486/D7
フェアブル昆虫記 (ポプラ者版 世界の名著)	古川晴男 / 訳	ポプラ社	1984	486/D7
フェアブル昆虫記 1～8	奥本大三郎 / 著	集英社	1991	486/D7

小学校中学年～

フェアブル昆虫記	古川晴男 / 文 熊田千佳慕 / 絵	世界文化社	2001	486/D7
----------	-----------------------	-------	------	--------

小学校低学年～

幼年版フェアブルこんちゅう記	小林清之介 / 文 たかはしきよし / 絵	あすなる書房	1983	486/D7
----------------	--------------------------	--------	------	--------

新版ファーブルこんちゅう記 1～7	小林清之介 / 文 横内襄 / え	小峰書店	2006	486/D7
『こども版ファーブルこんちゅう記』(1987年)の改版。内容には特に変更なし。				

『ファーブル昆虫記』から昆虫の世界へ

小学校中学年～

ファ-ブル写真昆虫記	三谷英生 / 構成	岩崎書店	1986～1987	486/D7
野原のバイオリンひき ますい針をもつかりうど おいのりする虫 つぼをつくるかりうど ふんの玉をころがす虫 やかましい演奏家 長い鼻はあなあけドリル リラの花祭りのお客 糸をつむいであみづくり 紙の家をたてる建築家 キャベツの青虫 虫の本能をさぐる	今森光彦 / ほか写真 小川宏 / ほか写真 小川宏 / ほか写真 小川宏 / ほか写真 今森光彦 / 写真 栗林慧 / ほか写真 小川宏 / ほか写真 栗林慧 / ほか写真 栗林慧 / ほか写真 栗林慧 / ほか写真 小川宏 / ほか写真 小川宏 / ほか写真			
『ファーブル昆虫記』を元に、写真を中心に昆虫の生態を探る。巻末には「解説 - ファーブルの見た虫と日本の虫」があり、日本での生息の様子などが加えられている。				

小学校低学年～

ファーブル昆虫記の虫たち 1～4	熊田千佳慕 / 絵・文	小学館	1998	486/D7
『ファーブル昆虫記』に出てくる虫を取り上げ、絵と詩をつけたもの。巻末にそれぞれの虫にまつわる『ファーブル昆虫記』の解説が付けられている。昆虫の世界を十分に楽しめるシリーズ。				

幼児～

絵本ファ-ブル昆虫記 1～3	熊田千佳慕 / 絵 古川晴男 / 文	コーキ出版	1981～1983	P/7
『ファーブル昆虫記』の場面を絵にしたシリーズ。詳細に描かれた絵は、文がなくても昆虫たちの様子をよく伝えている。取り上げられた昆虫ごとに解説もある。				

科学絵本ライブラリー ファーブル昆虫記	小林清之介 / 文	ひさかたチャイルド	2007～	P/7
じがばち たまころがし あわふきむし かまきり こおろぎ せみ あり もんしろちょう	滝波明生 / 絵 松岡達英 / 絵 森上義孝 / 絵 森上義孝 / 絵 たかはしきよし / 絵 金尾恵子 / 絵 金尾恵子 / 絵 たかはしきよし / 絵			
『ファーブル昆虫記』を元に、わかりやすく絵本にしたもの。巻末に観察の仕方や、ファーブルについてのなどの解説もある。				

現代のファールたち

栗林慧

『ファール昆虫記』を読み、昆虫の世界を写す写真家を目指す。アリの全身がはっきりと写り、迫力のある生き生きとした写真を撮りたいと「昆虫スナップカメラ」を開発、その後改良を重ね「クリビジョン」とネーミングした「超被写界深度接写カメラ」を完成させる。このカメラによりアリの目からみた昆虫など、現実の昆虫たちの世界を表現しつづけている。

アリになったカメラマン：昆虫写真家・栗林慧	栗林慧 / 写真・文	講談社	2002	743/7
昆虫の世界を撮ることへの情熱から生まれた、独自のカメラ「クリビジョン」の開発への挑戦など昆虫写真家・栗林慧の自叙伝。(小学校高学年～)				

アリからみると	桑原隆一 / 文 栗林慧 / 写真	福音館書店	2004	P/7サ
草の中に潜むバッタや虫たち。とても小さい生き物だけど、アリの目からみると、どう見える？「クリビジョン」で撮影した虫の世界を楽しむ写真絵本。(幼児～)				

栗林さんの虫めがね 1変身 2発見 3瞬間 4色形	栗林慧 / 著	フレーベル館	2004	486/D7
生き生きした昆虫を捉えるため、自ら開発したそれぞれのカメラの特徴を生かし作ったシリーズ。巻末には、撮影に使用したカメラの解説があり、昆虫の世界へ近づく秘密がわかる。				

今森光彦

写真家。里山という人と自然が共存する場所を舞台に、昆虫などを撮ることを通して、自然と人との関わりや人と人のつながりなどを伝える。写真とともに書かれた言葉は、読者の目線で、自然と読者を強く結び付けている。

今森光彦昆虫記	今森光彦 / 著	福音館書店	1988	486/D1
著者がフィールドとしている、滋賀県の湖西方面を中心にした観察場所で、季節ごとの昆虫などの様子をまとめた写真集。12ヶ月の自然の様子を「おしゃれな水玉模様：ナミテントウの紋様のいろいろ」のような様々なテーマに沿って楽しめる。				

やまおやし	今森光彦 / 著	小学館	2006	653/1
「やまおやしは幹が太くなったちょっとへんてこりんなクヌギたちのこと。」(本文より) やまおやしから見える、木々たち、集まる虫、人、四季の変化を捉えた自然を身近に感じる一冊。 (小学校中学年～)				

だれだかわかるかい？：むしのかお	今森光彦 / ぶん・写真	福音館書店	1995	486/D1
「わたしはだあれ？」虫たちの顔をよく見てみよう。ページをめくると答えがわかる、楽しい写真絵本。(幼児～)				

やあ！出会えたね 1ダンゴムシ 2カマキリ 3テントウムシ 4くも 5フン 虫	今森光彦 / 文・写真	アリス館	2002 - 2006	486 / D4
シリーズ名「やあ！出会えたね」の通り、いつもの生活のなかで、ふっと出会った虫たちの観察記録。自分で観察しているように感じながら、楽しんで読むことができます。(小学低学年～)				

海野和男

昆虫写真家。少年時代から昆虫の魅力にとりつかれ、昆虫採集や観察に生きる。学生時代に昆虫行動学を学び、昆虫写真家として活動を始める。特に、擬態については学生時代からのライフワークであり、多くの著作がある。

昆虫の擬態	海野和男 / 著	平凡社	1993	486 / D4
カムフラージュ、警告のシグナル、威嚇のテクニックと様々な昆虫たちの擬態を撮った写真集。				

昆虫たちの擬態	海野和男 / 著	誠文堂新光社	2008	486 / D4
昆虫の身を守る術である色々な擬態を紹介、解説した1冊。写真をみているだけでも楽しい。(小学校中学年～)				

虫のかくれんぼ	海野和男 / 著	福音館書店	1993	486 / D4
どこにいるのかな？葉っぱや木の幹をよーく観ると…。昆虫がひそむ自然を撮った写真絵本。(幼児～)				

花になったカマキリ	海野和男 / 写真 文	新日本出版社	2008	486 / D4
花に化けて獲物を獲るハナカマキリの生態を、探っていく様子を記したドキュメンタリー。虫の生態だけでなく、ハナカマキリをめぐる人々との交流や地域の様子なども知ることができます。(小学校中学年～)				

矢島 稔

昆虫学者。体調を崩し、休学している間に『ファール昆虫記』を読み感動し、自分自身でも昆虫を観察しその経過を記録してみようと思い立ち、観察日記「私の昆虫記」を書く。その後高校生になり第一回学生研究コンクールに「マダラミズメイガの研究」を応募し入賞したことから「一生、昆虫の生態観察にかけよう！」と決心する。
多摩動物公園昆虫園を開設するなど、昆虫との出会いの場を作り、観察記録としての著書を多く出版している。

わたしの昆虫記 1～5	矢島稔 / 著	偕成社	1998 - 2007	486 / D4
著者が開園計画から関わっている「昆虫園」での体験を中心に昆虫の不思議、おもしろさを綴る読み物。巻末にもっと「知りたい方のために」より詳しい本の紹介がある。(小学校中学年～)				

自然のかくし絵：昆虫の保護色と擬態	矢島稔 / 著	偕成社	1999	486 / D4
自然の中にかくれる昆虫たちを撮った写真集。保護色と擬態のついての解説がある。(小学校中学年～)				

虫に出会えてよかった	矢島稔 / 著	フレーベル館	2004	289 / 7
昆虫学者になるに至る経緯、昆虫との関わりなどを綴った自伝的読みもの。(小学校中学年～)				